

木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業

研究開発項目① 新たな燃料ポテンシャル(早生樹等)を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

研究開発項目② 木質バイオマス燃料(チップ、ペレット)の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

2026年度第2回公募の概要

(正式な公募内容は本公募開始時に公開される公募要領をご参照ください。)

2026年4月20日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生可能エネルギー部 バイオマスユニット

目的

森林・林業等と持続可能な形で共生する木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システムの構築、燃料品質に基づく商慣行の定着

木材関連事業者

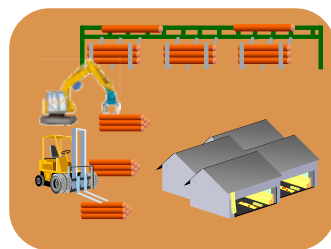


成長速度の速い早生樹の活用



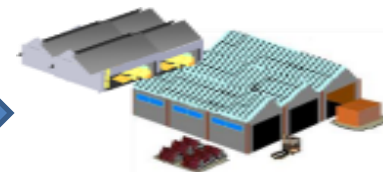
切り株から萌芽更新により苗木・植栽コスト低減

チップ・ペレット製造事業者



全量燃料材として活用や現地加工など
運搬・加工の最適化

木質バイオマス発電所等



市場
(販売)

① 燃料ポテンシャルの開拓

事業名：新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業
【補助事業】

② 運搬、加工システムの最適化

事業名：木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業
【補助事業】

③ 品質規格の策定

事業名：木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業
【委託事業】

※ 2026年度は、研究開発項目①、②を公募します。

研究開発項目①：

新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

早生樹等の活用拡大に向け、山元での**資源量拡大**を目標に、以下の事業を公募します。

[1] 既に早生樹等の造林に取り組んでおり、一定の基礎データを有する事業者を対象に、早生樹等の活用拡大に向けた研究開発を加速するべく、実証事業を実施します。
← 今年度[1]は募集しません

[2] 早生樹等の**造林・伐採**に係るコストの削減に資する要素技術の研究開発（機械装置、資材等）につき、実証事業を実施します。

・植付作業の機械化や獣害対策など、造林・育林段階から伐採・搬出機械まで山元での技術・手法が対象

※移動式チップパーは製造機械として、原則は項目②の対象ですが、他の要素と組み合わせた場合、項目①に含む提案も可能です



林野庁「平成27年度森林・林業白書」の図を改変

研究開発項目②：

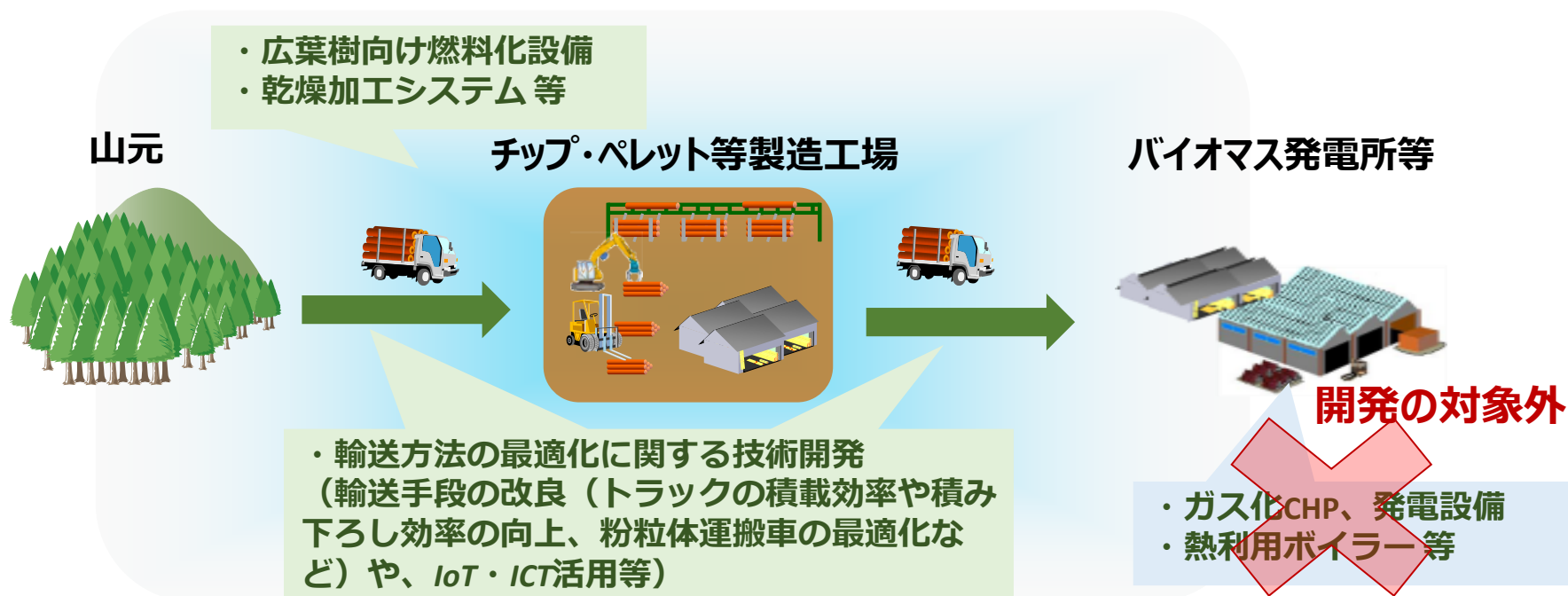
バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

国産の木質バイオマスを原料としたチップ・ペレットの製造輸送の低コスト化に係る事業を公募します。

- 安定供給や品質向上等に資する輸送手段の改良やICT技術の高度利用など、燃料加工工場を含め、山場から発電所等までバイオマス燃料の製造輸送工程の低コスト化等に資する技術開発と実証

注意：発電設備や熱利用ボイラー等、利用設備・技術の開発は本事業の対象外です。

- 広葉樹向け燃料化設備や、乾燥加工システムなど、GHG削減や効率化等に資する燃料用途樹種に適した製造・加工技術開発と実証



◆想定される提案テーマ例

● 研究開発項目①

- ・早生樹の苗木生産技術
- ・地拵え・植林作業の機械化・省力化
- ・架線集材による伐出作業の効率化
- ・その他、資源量拡大に資する技術

・
・
・

● 研究開発項目②

- ・ICTを活用したサプライチェーン合理化
- ・乾燥技術の高度化
- ・山元でのチップング等による輸送効率改善
- ・その他、コスト30%削減に資する技術

・
・
・

対象は、上記に限られません。公募開始まで事前相談が可能です。

問い合わせ先: sol-fuel@ml.nedo.go.jp

なお、**国産木質バイオマス燃料の資源量拡大やコスト削減とは関係のない技術は対象外**です。

- 対象外の例:
- ・輸入原料や草本類の使用が前提である場合
 - ・エネルギー損失が生じるブラックペレット等、燃料改質技術の開発
 - ・ガス化炉やボイラー等、利用設備についての開発

○ 事業期間

研究開発項目① [2] 3年度以内（2026年度～2028年度）
研究開発項目② 3年度以内（2026年度～2028年度）

※事業期間が2年度を超える事業においては、補助事業期間を2年度目終了時まで、3年度目以降に区切ることを原則とし、事業期間2年度目終了時に外部有識者による審査を経たうえで事業の継続を行うものとする。

○ 事業規模（NEDO負担分）

補助率：2/3以内

2026年度総額(本公募対象分)：100.0百万円程度
2027年度総額(本公募対象分)：250.0百万円程度
2028年度総額(本公募対象分)：160.0百万円程度

※ **採択件数は研究開発項目①と②を合わせて4件程度とします。**

※事業規模は、確定したものではありません。

○ スケジュール

公募開始（予定）： 2026年8月下旬頃 ※1か月程度前後する可能性あり
公募期間： 公募開始から約1か月間
審査期間： 公募締切から約1か月間
交付決定・事業開始： 遅くとも2026年12月までに事業を開始頂きます

ご提案をお待ちしております。